

地域に見守られ、地域で育つ子どもたち

校長 上橋 秀司

梅雨空の合間には、ぬけるような夏の太陽がふりそそぐ季節となりました。6月23日には、プール開きを行い、子どもたちの歓声がプールいっぱいに広がっています。

先日の休日参観には、多くの保護者の方々に子どもたちの頑張っている様子を見ていただきました。期待に胸膨らませて進級・入学してきた子どもたちは、この3ヶ月の間に随分と成長してきています。

保護者の方からのアンケートを読ませていただきました。授業についての評価からは、教師の話だけでなく友達の発表にも耳を傾け、お互いに考えを深めていく力をつけていかなければと感じました。また、「体育や家庭科など保護者参加型の学習が楽しかった。」「実験や実習、音楽など普段見られない子どもの姿が新鮮でした。」「4月と比べて一人一人が成長しているのを感じました。」などの声をいただいたことは、嬉しい限りです。逆に、参観の仕方や子どもたちの発表の声の小ささ、教室の時計の時刻が正確でないなどの問題点も投げかけていただきました。改善できることは、改善し、検討すべきことはしっかりと検討したいと思います。

午後からは、まなびい広場が開催されました。須磨琴体験、手作りコーナー、チャレンジコーナー、バザーなどたくさんの催し物が並びびっくりしました。保育園児の素敵な作品が会場のムードを盛り上げ、多くの人たちで賑わいを見せていました。似顔絵を描いてもらって嬉しそうにしていた小さな子どもたち、お気に入りの品物を見つけて袋いっぱい買い物をしていた小学生、血圧を測ってほっとしていた地域の方、……。和やかなひとときでした。子どもスタッフとして、献身的な活躍ぶりの6年生の皆さん、ありがとうございます。そして、前日までの準備、当日の運営とお世話していただいた施設開放委員会・まなびい広場実行委員会・子育て支援ネットワーク・PTAの役員の方々に心よりお礼申し上げます。

そして、6月25日には、ペア学年で力を合わせてのバケツリレー、放水訓練、消化訓練など防災コミュニティ・消防団の方々のお力で素晴らしい防災学習ができました。

『地域に見守られ、地域で育つ子どもたち』を実感した一ヶ月でした。これからも地域に根ざした教育活動がより一層充実しますようご支援、ご協力をお願いいたします。